

平成27年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 34  
ID 102004

【施設状況】

グループ名称	障害者支援施設（ひかり学園）								
指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会				法人番号	5100005001689			
所管課	主	102000	障害福祉課	副					
構成施設	1413	障害者支援施設(ひかり学園)							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	02	利用料金制
施設概要	居室 51室（2人部屋 31室、1人部屋 20室）、短期入所専用室 4室、食堂 1室、厨房 1室、浴室 1室、作業室 3室、事務室 2室（職員室 1室、事務室 1室）、会議室 1室、医務室 1室、体育室 1室（ステージ付）								
施設設置目的	施設に入所する障害者に対し、主として夜間における、入浴、排泄、食事等の日常生活上の施設入所支援を行うとともに、日中は生活介護等の障害福祉サービスを提供することにより、障害者の福祉の増進を図る。 また、地域で生活する障害者の一時的な受け入れなど支援の充実に努め、併せて保護者の介護にかかる負担の軽減を図る。								
基本方針等	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設は、利用者に対して、自立と社会経済活動への参加を促進するため、必要な介護及び訓練を適切に行うものとする。</li> <li>利用者の意思及び人格を尊重し、常にその者の立場に立ってサービスを提供するように努める。</li> <li>できる限り居宅に近い環境の中で、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、市町村、指定相談支援事業者、保険医療サービス及び福祉サービスを提供する者との連携に努めるものとする。</li> </ul>								
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活介護</li> <li>自立訓練（生活訓練）</li> <li>施設入所支援</li> <li>短期入所</li> </ul>								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> <li>協定、計画の一部が予定どおり実施されない</li> <li>管理運営の一部において、市の指導が必要</li> </ul>
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> <li>協定、計画が全て実施されない</li> <li>管理運営の全てにおいて、市の指導が必要</li> <li>市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない</li> </ul>

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会			指定回数	2 回	
指定期間	平成23年4月1日	～	平成28年3月31日	5年	管理運営開始日	平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	H24	H25	H26	H27	対前年比	評価
		生活介護	人/日	56.9	58.2	71.7	68.5	96%	3
		自立訓練（生活訓練）	人/日	16.3	11.6	0.0	0.0	#DIV/0!	
		施設入所支援	人/日	73.0	69.3	70.9	63.3	89%	
		短期入所	人/日	3.4	3.4	4.7	4.8	102%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) H26年度より、自立訓練については休止している。 旧法施設（知的障害者入所更正施設）									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活介護 定員 74人</li> <li>自立訓練（生活訓練） 定員 6人（H26年度から休止）</li> <li>施設入所支援 定員 78人</li> <li>短期入所 定員 6人（H26年度から定員4→6に増）</li> <li>施設及び設備の維持管理</li> </ul>			<自立訓練> H26年度から利用者がいないため、休止している。				
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅障害者タイムケア事業</li> <li>障害児自立サポート事業</li> </ul>			<追加事業> 生産活動として、農作業、しいたけ作業、薪きり結束作業、室内作業などを行っている。				
サービス維持・向上の取組み（広報等）		<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページや施設パンフレット等でPRしている。</li> <li>毎月、機関紙「ひかりだより」を発行し、保護者家族に情報提供を行っている。</li> <li>VTRを用いた行事報告会や家族との懇談会、交流行事を開催し、家族とのつながりを深めている。</li> </ul>							

3 利用者評価

区分	内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者会議等	3
	(2) 調査、会議等の内容  2ヶ月に1回行われる保護者会で要望・苦情の集約を対応しているほか、苦情受付担当者を置き、直接の提案を受け付けている。また、利用者の栄養スクリーニングに活用するため食事の嗜好調査を行っている。		
(3) 調査、会議等の結果	施設整備に関する要望が出された。		
利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価  誕生日には、誕生日メニューとして何でも好きなメニューをリクエストに応じて提供しプレゼントを贈るなど、施設利用者に喜ばれる取り組みを実施している。		3
	(2) 苦情・改善等の要望事項  特殊浴槽の設置について設置要望があり、27年度中に長野市へ翌年度以降の設置へ向けての協議及び予算要求を行なった。		
	<<対応措置>>  特殊浴槽について、平成28年度に設置することが決定した。		

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成27年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成27年度決算		平成26年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	296,494,000	利用料金	292,299,717	歳入	使用料		使用料	
	指定管理料	0	指定管理料	0		雑（納付金）		雑（納付金）	
支出	委託料		委託料		歳出	行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
	販売収入等		販売収入等			その他		その他	
	その他収入	1,255,000	その他収入	1,472,615					
	計	297,749,000	計	293,772,332		計	0	計	0
自主事業	人件費	179,969,000	人件費	173,969,761	自主事業	指定管理料		指定管理料	
	設備管理費	26,656,000	設備管理費	25,814,738		委託料		委託料	
損益	備品購入費	3,620,000	備品購入費	3,278,471		需用費		需用費	
	修繕費	5,121,000	修繕費	5,120,567		役務費		役務費	
	光熱水費	27,939,000	光熱水費	20,496,097		使用料・賃借料		使用料・賃借料	
	事業費	34,780,000	事業費	32,673,456		修繕費		修繕費	
	事務経費	6,773,000	事務経費	5,629,630		工事請負費	14,623,200	工事請負費	12,072,240
	本社経費		本社経費			備品購入費		備品購入費	
	その他		その他			その他		その他	
	減価償却費		減価償却費	2,882,326		計	14,623,200	計	12,072,240
	計	284,858,000	計	269,865,046					
	収入	1,738,000	収入	2,330,460					
	支出		支出						
	自主事業損益	1,738,000	自主事業損益	2,330,460					
	損益	14,629,000		26,237,746	差引	-14,623,200		-12,072,240	
人件費比率【人件費（賃金等）／平成27年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）									64.5%
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 36人(34人)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	☑	3
	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	☑	
	防犯、防災対策	☑	
1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか			
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	☑		
1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか			
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	評価		
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。また、市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。	4		
協定内容・指定管理者提案			追加された内容、未実施の内容及びその理由
体育館の無料開放を行っているほか、毎年、防災訓練のうち1回を地域とともに夜間総合訓練として実施するなど地域との協働関係を築いている。			地域のボランティアサークルと協働しながら入所者支援を行なっている。

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	3	6	合計得点 <b>62</b>	
施設の有効活用	3	6		
利用者評価	3	12		
事業収支	3	6		
管理運営全般	3	12		
危機管理体制	3	12		
地域連携	4	8		

評価理由

施設の設置目的を理解し、利用者が安心して利用している。家族会（保護者会）等との連携を図りながら事業が実施された。管理経費についても経費の節減に努め、指定管理者として適切に事業運営にあたった面は評価できる。地域連携については、地元ボランティアサークルと協働して入居者支援を行なっていることから評価を4とした。

取組み・改善案等  
(施設所管課)

前年度からの課題	改善状況	改善案等（改善されていない場合）
車椅子、歩行者、杖等の利用者増に伴い、施設管理や利用者支援を適切に実施する。	H28年度に特殊浴槽の設置が決まり、車いす利用者等の支援が充実することになった。	施設内のバリアフリー化（洗面所等）をより充実させる。

次年度の目標・取組み等  
(施設所管課)

施設利用者の高齢化が著しく、車椅子、歩行者、杖等の利用者が増加することに伴い、施設内のより一層のバリアフリー化を図ること、また、施設設備の老朽化に備え年次計画により設備の更新を進め、住環境の充実と利用者支援を適切に実施する。

## 指定管理者自己評価

B

## (1) 今年度の取組みに対する評価

## ① サービス向上に向けての取組み

- ・グループホームや地域に暮らす方に日中の生活介護サービスを提供するために送迎サービスを実施した。
- ・理学療法士によるリハビリを週1回、音楽療法士による音楽療法を月2回以上提供することにより、利用者の心身の緊張の軽減と機能維持のための訓練を提供した。
- ・障害特性に応じた専門性を持った支援を行うために、活動の集団を小さくして、落ち着いた環境を提供するために空き部屋を活動屋として使い支援を行った。
- ・短期入所においては、主となる介護者の入院時に緊急的に利用者を受け入れた他、養護学校、他事業所と連携して利用者を受け入れた。また、自立サポートやタイムケアの事業を実施した。

## ② 業務の効率化に対する取組み

- ・法人全体で個別支援計画から日々の記録までを一括で管理するパソコンの支援ソフトを導入したことにより、効率的且つ正確な情報の管理と共有化が出来た。
- ・法人では事業部制を導入しているが、当施設の属している事業部では障害者支援に必要な人材育成（研修プラン）の実施、事業部に共通した課題への取り組みや余暇支援を実施した。

## ③ その他

- ・福祉サービス第三者評価を受審したことにより施設の抱えている課題を再認識した。また、サービスを見直す貴重な機会となった。  
良い点として評価された事項は、①施設と地域が双方向的な関係を築いている②服薬管理体制の工夫による利用者の安全確保がなされている。  
改善を必要とされる事項は①利用者記録の工夫②利用者の重度化を見据えた施設の充実と質の向上③建設的なコミュニケーションの強化。
- ・職員のスキルアップの為に虐待防止法の研修他行政機関や関係機関の実施する各種の研修に積極的に参加した。

## (2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・障害特性に応じた専門性をもった支援を行うためには、活動の集団を小さくして、落ち着いて過ごせる環境づくりが必要だが、活動室の不足からやむをえず空き部屋をグループの活動室として使っている。今後、さらに居室を空けることで活動室を確保するか、新たな場所を設けるかの対応が必要となっている。
- ・短期入所において、利用希望者が多く、特に児童やマンツーマン対応を必要とする利用者が増えているので、受入れは職員の人員を厚くしないと出来ない現状であり、肢体不自由の方と行動障害の方が一緒にならないように配慮して予約を受けなければならない。また、入所利用者と短期入所利用者の相互の精神的な安定を図る為には動線を分ける必要がある。
- ・空調機器等補給部品の生産が終了するため、2019(平成31)年中を目途に空調機器の入替の検討をするよう設置業者よりお願いをされた。機器等の計画的な入れ替えが必要となっている。

## (3) 次年度以降の取組み

- ・28年度に脱衣室の改修と特殊浴槽が導入される予定なので、車いす利用者に快適な入浴環境を提供する。
- ・権利意識の向上を図り、利用者への不適切な支援の掃をを図る。その為に積極的に研修に参加し職員のスキルアップを図る。
- ・日中活動の充実と利用者の誤嚥、転倒等に対する事故防止の取り組みを進め、心身の状況変化に柔軟に対応できる体制を整えたとともに、新たなニーズに対応できる職員の資質向上を図る。
- ・自立訓練事業は、平成26年以降利用ニーズがなく休止状態となっているが、今後も利用の見込みはなく、生活介護事業での対応も可能と考えられるので長野市と協議の上事業を廃止します。また、定員規模については、よりきめ細かい利用者支援と専門性が発揮できるよう、入所支援は78人から60人に、生活介護も74人から60人に変更し、短期入所は利用者ニーズが高いことから施設や受け入れ態勢を整えて定員を6人から10人へ変更を検討していきます。

## 【指定管理者自己評価基準】

A：計画や目標を上回る、B：計画や目標をやや上回る、C：計画や目標どおり、D：計画や目標をやや下回る、E：計画や目標を下回る